事業別概況

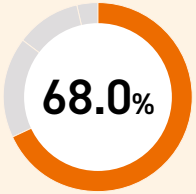
オートバックス事業　カー用品店からモビリティライフ全般を支える存在へ

セグメント資産　**事業別ROIC**

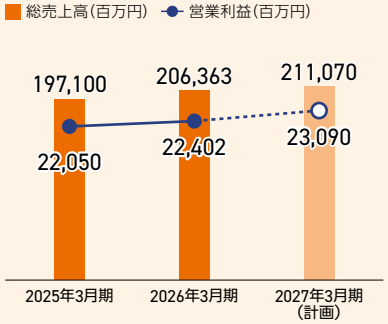
113,802百万円　**14.1%**

（2026年3月期）

セグメント別売上高構成比



総売上高／営業利益



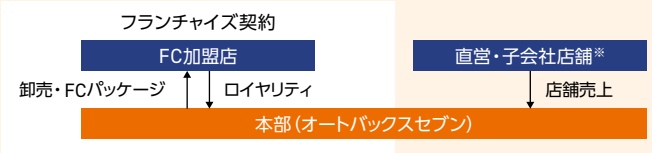
※総売上高は、セグメント間の内部売上高を含む

事業概要

- カー用品販売、車検・整備、車販売を展開する「オートバックス」をはじめとする店舗をフランチャイズ展開
- FC本部として国内のFC加盟法人に対してカー用品等を卸売

オートバックスフランチャイズシステム

オートバックスフランチャイズシステムは、本部とFC加盟店の役割分担を基盤とした運営体制を採っています。本部はノウハウの提供や商品開発、IT基盤の整備に加えて、FC加盟店への商品の卸売や物流機能などの業務を担い、FC加盟店からのロイヤリティなどで営業収入を得ています。国内店舗は直営・子会社店舗（31.2%）およびFC加盟店（68.8%）により構成されています。



※店舗運営子会社ともフランチャイズ契約を締結していますが、同社向けの卸売高およびロイヤリティ収入は連結財務諸表上、内部取引として消去されています。

市場環境と強み

リスク

- 自動車保有台数の減少
- 整備士不足・高齢化
- 暖冬による季節商品の需要減
- ディーラー・ECとの競争激化
- EV普及による一部商品・整備需要の減少

機会

- 車両使用年数の長期化に伴うメンテナンス需要の増加
- 新車価格の上昇に伴う中古車需要の拡大
- EV普及に伴うEV整備市場の拡大
- カーシェア・リースなど車両利用形態の多様化
- M&Aによる事業シナジー創出

当社グループの強み

- 国内1,059店舗、海外149店舗の店舗網と幅広い顧客接点
- タイヤ販売店No.1※1のブランド力、車買取会社・中古車販売店調査における高い顧客満足度※2
- 車買取・販売から整備・車検、用品販売までをカバーするワンストップサービス
- EVを含む次世代車両へ対応した販売・整備基盤
- 高品質なピットサービスを支える整備技術力

※1 株式会社日本能率協会総合研究所が実施する「タイヤに関する調査（2026年）」における結果
※2 株式会社oricon MEが実施する「2025年 オリコン顧客満足度®調査 車買取会社ランキング」および「2026年 オリコン顧客満足度®調査 中古車販売店ランキング」における結果

成長戦略

ピットサービス利用の拡大

無料安全点検を起点に来店機会を創出し、車検・整備の需要を継続的に取り込むことでサービス収益を拡大。

中古車販売の強化

買取・販売体制の強化により中古車小売を拡大するとともに、関連サービスとの連携や車販売分野での認知度向上を推進。

顧客基盤の拡大

会員制度の強化や継続的な情報発信により、顧客ロイヤルティとLTVを向上。

事例紹介

無料安全点検を起点としたLTVの向上

オートバックスでは、無料安全点検を入口として、メンテナンスサービスや車検利用につなげることで継続的な来店機会を創出し、顧客との長期的な関係構築を進めています。さらに、車両の買取・販売や関連サービスの提案を通じて顧客との接点を拡大し、モビリティライフ全般を支えるサービスの提供を目指しています。

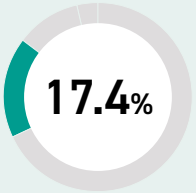
事業別概況

コンシューマ事業　オートバックス事業とのシナジーを創出するマルチブランド展開

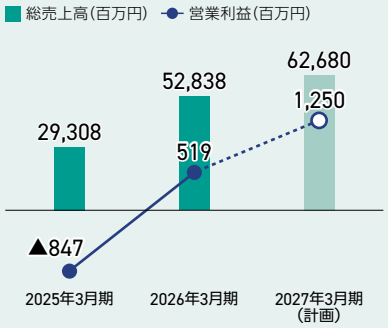
セグメント資産　50,607百万円（2026年3月期）

事業別ROIC　0.8%

セグメント別売上高構成比



総売上高／営業利益



※総売上高は、セグメント間の内部売上高を含む

事業概要

- **ディーラー**
  ホンダ、アウディ、ボルボ、BYDの正規ディーラーを運営
- **中古車販売**
  車買取・販売店「オートバックスカーズ」および自社ローン型中古車販売店「オトロンカーズ」を展開
- **オンラインストア**
  公式ECサイトや外部モールを通じてカー用品を販売し、実店舗と連携したサービスを提供
- **フリート**
  法人向けにカー用品販売、車検・整備、リース受託などを展開
- **その他**
  タイヤ専業店「ビーライン」やホームセンター併設の整備工場「AUTO IN」などを展開

ディーラー

ホンダカーズ 松戸東店

ホームセンター併設の整備工場

AUTO IN 水口店

タイヤ専業店

ビーライン高鍋R10号店

市場環境と強み

リスク

- 自動車保有台数の減少
- 整備士不足・高齢化
- 原材料価格高騰や円安によるコスト上昇
- EC事業者との競争激化

機会

- 車両使用年数の長期化に伴うメンテナンス需要の増加
- 環境対応車や新たなモビリティ需要の増加
- EC・デジタルチャネルを通じた顧客接点の拡大
- 新車価格の上昇に伴う中古車需要の拡大

当社グループの強み

- 自動車関連事業を幅広く展開する多角的な事業ポートフォリオ
- 車買取会社・中古車販売店調査における高い顧客満足度※
- グループネットワークを活用した調達・物流・顧客基盤
- ECと実店舗を融合したOMOモデル

※ 株式会社oricon MEが実施する「2025年 オリコン顧客満足度®調査 車買取会社ランキング」および「2026年 オリコン顧客満足度®調査 中古車販売店ランキング」における結果

成長戦略

拠点・チャネルの拡大

M&Aや新規出店を通じて、新たな顧客接点を開拓。

事業ポートフォリオの強化

事業領域拡大により、ポートフォリオの多様化と収益基盤の強化を推進。

グループシナジーの創出

店舗網や物流網、顧客基盤を活用した事業間連携を推進し、送客・調達・物流面での相乗効果を追求。

事例紹介

事業ポートフォリオ強化に向けた取り組み

中期経営計画で掲げる「モビリティライフを支え続けるタッチポイントの創出」の実現に向け、M&Aや事業譲受、新会社設立などを通じて事業領域を拡大し、業態・地域・チャネルの多角化を通じた新たな顧客接点の創出を推進しています。

時期	主な取り組み	事業領域
2024年 4月	オートバックスカーズがグループ外FC加盟募集開始	中古車販売
2024年 8月	オトロンカーズ株式会社を子会社化	中古車販売
2024年10月	株式会社ホンダカーズ東葛を子会社化	ディーラー
2024年10月	オートバックスカーズ初の大型店をオープン	中古車販売
2025年 1月	株式会社ビーラインを子会社化	タイヤ販売
2025年 4月	株式会社ジェー・シー・エーを子会社化	カー用品・整備
2025年10月	株式会社アヤハディオより一部事業を譲受	カー用品・整備
2026年 7月	株式会社佐々木自動車を子会社化	車検・整備
2026年 7月	株式会社羽中田自動車工業を子会社化	ディーラー

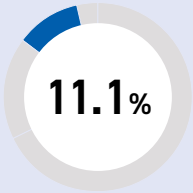
事業別概況

ホールセール事業　国内外の調達網と商品力を生かし成長を加速

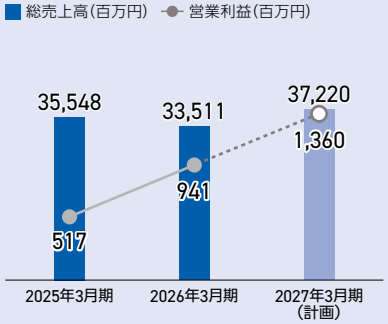
セグメント資産　15,989百万円（2026年3月期）

事業別ROIC　3.9%

セグメント別売上高構成比



総売上高／営業利益

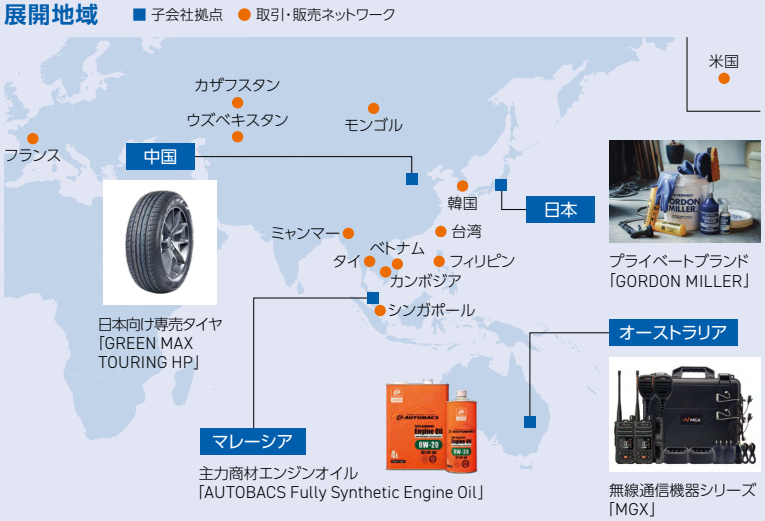


※総売上高は、セグメント間の内部売上高を含む

事業概要

- プライベートブランド商品の卸売
- 国内の小売業者へのカー用品等の卸売
- 海外のFC加盟法人や小売業者などへのカー用品等の卸売・輸出販売

展開地域



市場環境と強み

リスク

- 原材料高騰・為替変動
- 地政学リスクによる調達・物流への影響
- プライベートブランド商品の品質・供給リスク
- EC・専門商社との競争激化

機会

- 車両使用年数の長期化に伴うメンテナンス需要の増加
- プライベートブランド商品の拡販による収益性向上
- アジア市場の成長による販売機会の拡大
- グローバル調達体制の強化による商品競争力向上

当社グループの強み

- 国内外のネットワークを活用した調達力
- 高品質かつ競争力のあるプライベートブランド商品
- 海外ローカルパートナーとの強固なリレーション
- 国内外に広がる販売・物流基盤

成長戦略

販売チャネルの拡大

カーメーカー向け商品供給およびリテール卸の拡大に加え、新規外販先の開拓により販売機会を創出。

プライベートブランド商品・独占販売商品の強化

プライベートブランド商品の開発・拡販に加え、専売商品の導入やブランド代理権の取得を推進し、収益性と商品競争力を向上。

グローバル展開の加速

アジア市場における販売網拡大と現地ニーズに応じた商品開発・調達体制の強化を推進。

事例紹介

海外有力ブランドの販売代理権取得

海外有力ブランドの販売代理権取得を通じた商品ラインアップの拡充を進めており、子会社において、米国のカーケア用品トップブランド「Meguiar's」および布製タイヤチェーンの世界的ブランド「ISSE」の日本総販売代理店権を取得しました。

これらの取り組みを通じて、グループ内外の販売ネットワークを活用したさらなる販路拡大を推進するとともに、商品競争力の向上と収益基盤の強化を図ってまいります。

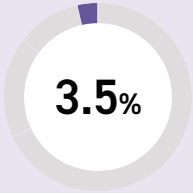
事業別概況

拡張事業　中長期的な収益化を見据え新規マーケットを開拓

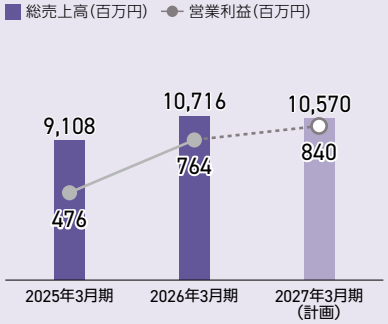
セグメント資産　37,550百万円（2026年3月期）

事業別ROIC　1.5%

セグメント別売上高構成比



総売上高／営業利益



※総売上高は、セグメント間の内部売上高を含む

事業概要

- ファイナンス
  ローン・クレジット・リース、保険代理店業務
- プロパティ・デベロップメント
  不動産の賃貸・売買・開発・投資

BACSPOT相模原（ガレージハウス）

- SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）
  特定小型原動機付自転車をはじめとした次世代マイクロモビリティの販売

マイクロモビリティ専門店
（スーパーオートバックスMITAKA内）

市場環境と強み

リスク

- 原材料価格高騰や円安によるコスト上昇
- 金融政策や新型モビリティに対する法規制

機会

- 高齢化・過疎化を背景とした移動支援ニーズの拡大
- EVや新たなモビリティの普及に伴う新サービス需要の創出

当社グループの強み

- オートバックスのブランド力
- 全国に広がる店舗網と販売ネットワーク
- 金融ノウハウと不動産アセット

成長戦略

ファイナンス

保険・リース・ローンのグループ内外の取引拡大を推進し、金融収益を拡大。

プロパティ・デベロップメント

新規出店開発と不動産活用を推進し、収益基盤を強化。

SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）

次世代モビリティの取り扱いを拡大し、新たな成長市場を開拓。

事例紹介

電動モビリティ領域への取り組みを拡大

当社グループは、多様化する移動ニーズやモビリティ市場の変化を見据え、電動モビリティ領域への取り組みを強化しています。

2026年8月からは車検不要の小型EV「Lean3」の販売を開始し、多様化する移動ニーズへの対応を進めています。さらに、新興EVメーカーへの出資を通じて、EV市場の拡大を見据えた事業基盤の構築を進めています。

これらの取り組みにより、新たな顧客接点の創出を図るとともに、電動モビリティの販売から整備・アフターサービス、用品販売まで、新たなモビリティの普及に伴う周辺需要の獲得につなげ、中長期的な事業成長を目指しています。

Lean3

11か年財務サマリー

WEB | 財務・業績

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
損益状況（百万円）											
売上高	208,142	204,033	211,630	213,840	221,400	220,449	228,586	236,235	229,856	249,525	280,055
卸売	117,848	115,637	121,081	124,214	126,931	124,763	126,430	127,364	122,577	122,038	122,848
小売	87,310	85,566	87,357	86,018	90,762	90,971	96,405	102,239	103,506	123,625	152,495
その他	2,983	2,830	3,190	3,607	3,705	4,713	5,751	6,631	3,773	3,861	4,710
営業利益	6,701	5,829	7,284	7,478	7,585	10,577	11,552	11,722	8,010	12,126	13,795
経常利益	7,780	7,120	8,226	8,203	8,059	11,219	11,246	11,574	8,093	12,516	14,625
親会社株主に帰属する当期純利益	4,371	3,015	5,403	5,485	3,764	7,050	7,010	7,239	6,355	8,132	8,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,564	9,488	16,394	4,447	10,603	17,163	5,712	10,687	14,431	3,944	14,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	-4,984	-7,147	-2,915	-3,078	-3,370	-6,085	-7,710	-7,652	-449	-18,020	-23,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	-11,154	-7,457	-5,840	-9,876	-9,684	-309	-12,300	-3,495	-7,413	13,973	-2,704
フリー・キャッシュ・フロー	5,580	2,341	13,479	1,369	7,233	11,078	-1,998	3,035	13,982	-14,076	-8,596
設備投資額	5,895	4,842	3,587	4,618	3,429	3,996	6,300	7,182	9,149	8,926	17,008
減価償却費およびのれん償却額	4,012	4,384	4,131	4,045	4,665	4,154	4,554	4,686	5,283	6,014	7,357
財務状況（百万円）											
総資産	180,454	176,708	187,405	181,391	172,799	187,914	189,910	194,327	194,948	228,170	239,901
自己資本	131,455	127,078	126,866	123,582	119,251	123,180	122,549	126,622	128,845	131,808	136,248
有利子負債	6,297	8,284	6,896	4,991	7,303	12,667	10,763	12,195	9,319	37,818	41,311
1株当たりデータ（円）											
当期純利益	51.60	36.00	65.49	66.58	47.10	88.28	89.17	92.87	81.52	103.89	106.39
配当金	60	60	60	60	60	60	60	60	70	60	60
配当性向（%）	116.3	166.7	91.6	90.1	127.4	68.0	67.3	64.6	85.9	57.8	56.4
純資産配当率（DOE）（%）	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.8	4.3	3.6	3.5
総還元性向（%）	235.4	255.7	91.6	142.5	182.8	68.0	109.5	64.6	85.9	57.8	56.4
経営指標											
売上高営業利益率（%）	3.2	2.9	3.7	3.5	3.4	4.8	5.1	5.0	3.5	4.9	4.9
自己資本当期純利益率（ROE）（%）	3.2	2.3	4.3	4.4	3.1	5.8	5.7	5.8	5.0	6.2	6.2
総資産経常利益率（ROA）（%）	4.2	4.0	4.5	4.4	4.6	6.2	5.9	6.0	4.2	5.9	6.2
自己資本比率（%）	72.8	71.9	67.7	68.1	69.0	65.6	64.5	65.2	66.1	57.8	56.8

※2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しています。2021年3月期までは、当該基準は適用していません。
※2024年3月期から「卸売」「小売」「その他」の分類を報告セグメントに合わせて変更しています。

ESG情報

WEB | ESGデータ

環境

項目	単位	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	目標数値[目標年月]
CO_2排出量（連結）※1	t-CO_2	17,018	16,808	20,890	22,362	カーボンニュートラル[2051.3]
Scope1	t-CO_2	3,009	2,522	2,884	3,559	
Scope2	t-CO_2	14,009	14,287	18,005	18,804	
CO_2排出量（単体）※2	t-CO_2	3,356	3,560	4,287	4,342	
電力使用量（連結）	万kWh	3,323	3,200	3,738	4,002	
電力使用量（単体）	万kWh	617	639	728	722	

社会

項目	単位	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	目標数値[目標年月]
人事データ						
従業員数（連結）	人	4,477	4,385	5,201	5,617	
従業員数（単体）	人	1,057	997	884	820	
男性	人	840	798	707	637	
女性	人	217	199	177	183	
女性従業員比率※3	%	17.9	18.4	18.1	17.9	30.0% [2031.3]
女性管理職比率※3	%	8.6	7.9	7.5	7.9	18.0% [2031.3]
障がい者雇用率	%	2.25	2.46	2.35	2.44	
60歳定年後再雇用者数	人	44	23	10	23	
外国人従業員数	人	17	22	18	12	
男性の育休取得率※3	%	37.1	52.6	51.7	45.5	100.0% [2031.3]
女性の育休取得率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
育休取得後復職率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
新卒採用者数	人	23	24	21	13	
キャリア採用者数※4	人	54	27	86	86	
人材育成						
社員1人あたり平均研修費用	千円	24.2	48.5	35.7	27.9	
社員1人あたり平均研修時間	時間	10.51	21.79	6.44	8.80	
推奨研修の年間受講者数（延べ人数）	人	115	184	163	123	
社内公募合格異動者数	人	5	17	10	9	
フリーエージェント制度利用者数	人	7	6	3	4	

注釈がない場合は、オートバックスセブン単体を対象としています。
※1：算定範囲は、2023年3月期196拠点、2024年3月期204拠点、2025年3月期223拠点、2026年3月期307拠点の日本国内事業所、直営・子会社店舗、物流拠点です。
※2：オートバックスセブン本社、地方事業所、直営店舗、ロジスティクスセンターを算定範囲としています。
※3：オートバックスセブングループ連結の数値です。女性従業員比率はパート・アルバイトを除く従業員数に占める女性従業員の割合です。
※4：外部から中途採用した正社員および限定職社員の人数です。

項目	単位	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	目標数値[目標年月]
働き方改革						
月間平均残業時間	時間	7.3	6.9	7.9	7.5	
年次有給休暇取得率	%	52.4	53.6	56.9	54.6	
健康経営						
定期健康診断受診率	%	100	100	100	100	
特定保健指導実施率	%	49.0	32.0	37.2	—	
ストレスチェック受検率	%	95.6	95.3	93.4	91.7	
喫煙率	%	24.5	25.0	20.1	18.3	16.0%未満 [2027.3]
ワークエンゲイジメント（個人）※5	pt	2.7	2.6	2.6	2.6	3.0pt以上 [2027.3]
プレゼンティーズム※6	%	87.0	86.0	85.1	84.4	90%以上 [2027.3]
健康経営に関する投資額	百万円	54	57	45	58	
会員数／自動車整備士数						
オートバックス会員数※7	千人	7,765	8,237	8,588	8,645	
自動車整備士数※8	人	3,690	3,813	3,813	3,927	

ガバナンス

項目	単位	2023年7月	2024年7月	2025年7月	2026年7月
取締役	人	9	8	8	8
社外取締役	人	4	4	4	4
女性取締役	人	1	1	1	1
監査等委員	人	3	3	3	3

店舗数

項目	単位	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
国内店舗数※9	店	997	1,003	1,020	1,059
FC加盟店	店	760	766	728	729
海外店舗数	店	78	109	148	149
FC加盟店	店	64	95	136	139
指定工場（民間車検工場）	店	440	440	443	444

※5：最小値1、最大値4とする評点の平均値で、高点数であるほど良い状況を示します。
※6：心身の健康状態などによるパフォーマンスへの影響を測る指標で、数値が高いほどパフォーマンスが高いことを示します。
※7：2024年3月期より、稼働会員の定義を「直近1年以内の購買」から「直近1年以内の購買または来店」に変更しています。
※8：オートバックスチェン全体の自動車関連国家資格（自動車整備士1級・2級・3級）の延べ保有者数です。
※9：併設店およびインショップを含んだ店舗数です。

主要連結子会社一覧

2026年10月1日現在

AUTOBACS SEVEN GROUP

オートバックス事業

株式会社オートバックス東日本販売
株式会社オートバックス関東販売
株式会社オートバックス中部販売
株式会社オートバックス関西販売
株式会社オートバックス西日本販売
株式会社シティ
株式会社オートバックスつくば
株式会社ユーエイ
株式会社ピューマ
AUTOBACS VENTURE SINGAPORE PTE LTD
AUTOBACS FRANCE S.A.S.
AUTOBACS CAR CARE (SINGAPORE) PTE. LTD.
株式会社ユータムエンタープライズ
NGM株式会社

その他

株式会社チェングロウス
株式会社オートバックスデジタルイニシアチブ
株式会社丸上物流

コンシューマ事業

正和自動車販売株式会社
高森自動車整備工業株式会社
近藤自動車工業株式会社
株式会社佐々木自動車
株式会社BACS Boots
株式会社ジェー・シー・エー
シー・シックス・ツー・ホールディングス株式会社
株式会社ビーライン
株式会社BL東日本
株式会社BL関東
株式会社BL中部
株式会社BL関西
株式会社BL西日本
株式会社ハイターンナップ
株式会社オートバックス・スクエアカーズ
株式会社オートバックス・モビリティモール
株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングス
株式会社バックス・アドバンス
株式会社羽中田自動車工業
株式会社グランツ
株式会社Wing
株式会社Vinge
株式会社ハートフル保険サービス
株式会社バックスeモビリティ
株式会社バックスネクサス
パワーコントロールテクニック株式会社
株式会社ホンダカーズ東葛
オトロンカーズ株式会社
AUTOBACS KOREA CO., LTD.

ホールセール事業

株式会社モビリティプロダクトソリューションズジャパン
株式会社ホットスタッフコーポレーション
株式会社ゴードンミラー
澳德巴克斯（中国）汽車用品商業有限公司
AUTOBACS CAR SERVICE MALAYSIA SDN. BHD.
AUTOBACS AUSTRALIA PTY LTD

拡張事業

株式会社オートバックス次世代自動車研究所
株式会社ムラタ自動車ガラス
株式会社オートバックスフィナンシャルサービス
株式会社東葛プランニング
VEEMO株式会社
ABTマーケティング株式会社
株式会社ARTA
株式会社オートバックス・マネジメントサービス
オートバックス・プロパティデベロップメンツ株式会社

WEB | グループ会社一覧

会社情報／株式情報

会社概要 (2026年3月31日現在)

社名	株式会社オートバックスセブン
本社	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
創業	1947年2月
資本金	339億9,800万円
連結従業員数	5,617人
主な事業所	本社 (東京都江東区) 関西事業部 (大阪府大阪市) 東日本ロジスティクスセンター (千葉県市川市) 西日本ロジスティクスセンター (兵庫県三木市)

外部評価／イニシアチブ (2026年9月30日現在)

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

CDP Discloser 2026

GX FUTURE CONSORTIUM

DX認定

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

※株式会社オートバックスセブンのMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による株式会社オートバックスセブンの後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

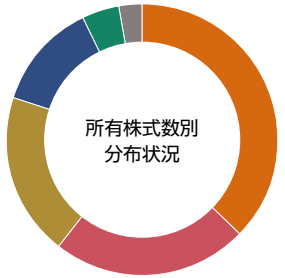
株式情報 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	328,206,900株
発行済株式の総数	82,050,105株 (自己株式3,521,597株含む)
株主数	65,527名
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
監査法人	有限責任監査法人トーマツ
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

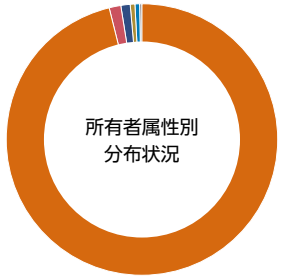
大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,735	11.12
株式会社スミノホールディングス	4,243	5.40
公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団	3,990	5.08
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,952	3.76
株式会社Kホールディングス	2,750	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (リテール信託口820079252)	1,800	2.29
フォアマン協栄株式会社	1,560	1.98
住野泰士	1,384	1.76
GOVERNMENT OF NORWAY	1,381	1.75
JPモルガン証券株式会社	1,006	1.28

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。
2. 持株数は千株未満を、また、持株比率は小数点第3位以下を、それぞれ切り捨てて表示しております。



個人・その他	37.36%
その他国内法人	23.38%
金融機関	19.48%
外国人	12.70%
自己名義株式	4.29%
証券会社	2.76%



個人・その他	98.63%
その他国内法人	0.70%
外国人	0.57%
金融機関	0.03%
証券会社	0.03%
自己名義株式	0.00%

※所有株式数別分布状況・所有者属性別分布状況の割合は、小数点第3位以下を、それぞれ切り捨てて表示しております。